

「前見て！運転プロジェクト」の推進要領

～ 「前を見て道路に沿って走る」ことは、最も基本的な義務 ～

目的

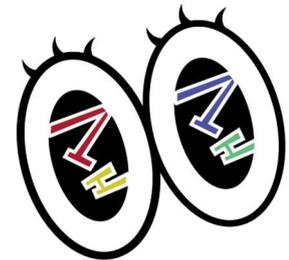
この運動は、近年、車線逸脱による正面衝突や道路外の工作物への衝突のほか、追突、横断歩道横断中の事故など、前方を注視していれば防げた可能性が高い事故が多発していることから、「前方注視の徹底（前見て！）」を広く呼びかけ、脇見・漫然運転の防止を図るとともに、携帯電話を使用しながらの運転、横断歩行者妨害など悪質・危険な行為を防止することで、道路における歩行者、車両双方の安全確保を図ることを目的とする。



実施期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間

実施事項



<p>広報・啓発活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ プロジェクトの周知徹底と広報・啓発活動の強化 ○ 朝礼・各種会議・イベント等における広報・啓発活動の推進 ○ 「前を見て道路に沿って走る」ことは、ドライバーとして最も基本的な義務であることの周知 ○ 横断歩道手前での十分な減速と安全確認、横断歩行者等がいる場合における一時停止の徹底についての広報・啓発活動の推進 ○ 各種媒体を活用した広報・啓発活動の推進
<p>安全確認の徹底に向けた対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車を含む車両運転中の「ながら運転」の防止など緊張感の保持 ○ ドライバーの体調管理の徹底 ○ 薄暮期・夜間におけるライト（前照灯）の早めの点灯、上向き点灯の励行による道路状況の把握と歩行者・自転車等の早期発見 ○ 関係機関・団体による街頭指導の強化及び交通危険箇所における対策の推進
<p>交通安全教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通法規に定める横断歩道の通行方法、減速・一時停止・安全確認などの注意義務等の正しい理解のための教育の推進 ○ 職場・学校・地域・家庭等でのあらゆる機会を捉えた交通安全教育の徹底 ○ 携帯電話をしながらの運転や飲酒運転の悪質性・危険性を理解させる教育の徹底